

2 . 全体評価

(1)全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	素材生産量(目標値)	131	千m3	R1	197	千m3	R6	187	95%	R6	愛知県林産物生産流通動態調査2024年次 改善措置実施状況報告 R7.4～R7.9
		素材生産性(目標値)	4.7	m3/人日		7.1	m3/人日		5.4	76%		
自立的林業経営活動の推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護												
マーケティング力ある林業担い手の育成												
林業経営体の育成												
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木造公共建築物等の整備	地域材利用量	131	千m ³	R1	197	千m ³	R6	187	95	R6	愛知県林産物生産流通動態調査2024年次
		都道府県全体の低層公共建築物の木造率	29	%	R1	29	%	R6	43	148	R6	令和6年度建築工統計
		都道府県全体の低層公共建築物の木造率の伸び率	96	%	R1	96	%	R6	48	50	R6	令和6年度建築工統計
		都道府県及び市町村が整備する低層公共建築物の木造率	10	%	R1	10	%	R6	6	60	R6	令和6年度建築工統計
		都道府県及び市町村が整備する低層公共建築物の木造率の伸び率	120	%	R1	120	%	R6	-40	-33	R6	令和6年度建築工統計

(注)

- 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進	機械の導入により素材生産量については95%、素材生産性については76%の達成率となり、目標に対してやや低調であった。	新規就労者の育成が課題となる。現場での技術指導や研修機会の提供等により、生産性の向上に向けて取組を進める。
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
マーケティング力ある林業担い手の育成		
林業経営体の育成		
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	地域材利用量は、公共建築物及び民間建築物において地域材の活用が進んだことにより、目標を概ね達成できた。 県全体の低層公共建築物の木造率は、民間事業者が整備する低層公共建築物の木造率の上昇により、目標を上回る実績となった。(伸び率は目標を下回った。) 県及び市町村が整備する低層公共建築物の木造率及びその伸び率は目標を下回った。	今後は、県と市町村における木造化の意識付けが課題となる。 市町村に対しては、木造化の意義やメリット等について普及啓発を行い、理解促進を進める。 県においては、低層の県施設は原則木造化とする基準の運用が開始しており、今後、木造率は上昇の見込みである。

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。